



「青」にこだわり、極めることで、
時代が求める新たな価値観を
創造し続けます。

株式会社 ジャパンブルー

711-0913 岡山県倉敷市児島味野4048-2
<https://www.japanblue.co.jp> 086-470-5056

在籍する職種 営業 / 一般事務 / 人事 / 生産管理 / 企画 / バタンナー /
縫製 / 製織 / 手織り / 染め / 総務 / 経理 / 広報 / EC / SE

夢と情熱をもって、ジーンズをつくる。

「青」にこだわったデニム製品を手掛けるジャパンブルーは、1992年デニムや綿織物を取り扱う会社として創業しました。ジャパンブルーの創業者、真鍋氏の「地場産業であるデニムを中心とした会社を起業すれば、世界と戦える会社になれる。児島の地にはその可能性がある」との思いから、児島の地での創業を決めたそうです。その後、2006年に製品事業に参入し「桃太郎ジーンズ」を、2011年には海外戦略ブランドとして「JAPAN BLUE JEANS」を立ち上げました。

現在は、染め（藍染）、製織（旧式力織機、手織り）、縫製を内製化した一貫通貫の生産能力を強みに、オリジナル生地を使用した独自性の高い製品の企画・製造・販売を行っています。

ジャパンブルーでは“遊びを真剣にやる会社”をモットーに、「肩の力を抜いて、しかし何事にも情熱をもって取り組まないと、良いものは作れない」という考えから、社員が自分の目標を持ち、楽しんで仕事ができる環境を

大切にしています。

近年では、国内はもとよりヨーロッパ等などにおいても「青」にこだわったジャパンブルー製品の認知度は年々高まっており、新たな価値観を生み出し続けています。



2024年7月にオープンしたばかりの京都店。「桃太郎ジーンズ」に代表される自社製品ブランドは、立ち上げ当初から地元児島で生産しています。ジャパ

ンブルーでは、産業集積地としての地場産業の歴史や優位性を積極的に打ち出す内容を軸にした「ものづくりの本質」を大事にしたブランドを展開し、「メイド イン ジャパン」に更なる付加価値を盛り込んだデニム製品を提案し続けています。

“UNTITLED (THE JEANS IN KYOTO #51-402)”, 2024 © GOTTINGHAM IMAGE COURTESY OF JAPAN BLUE, AS AND STUDIO XXINGHAM